

2021.

9/24 [金]

18:00-19:00

オンライン開催

[申込先]

下記サイトまたは
QRコード

https://us02web.zoom.us/join/joinMeeting?join_source=qr&meeting_key=WN_72A2BSvDRKyVQdPL8i1WXw



AMED次世代医療機器連携拠点整備等事業

Medtech Research Studioセミナーシリーズ

第2回 医療機器開発の プロフェッショナルに聞く

次世代の医療機器を開発していくためには、医療現場のニーズ、大学や研究所の研究力、企業の開発力をうまく組み合わせることが不可欠です。そこで、実際に医療機器開発に携わるエキスパートの先生のご講演いただく「医療機器開発のプロフェッショナルに聞く」と題するシリーズ講演会を開催しております。

第2回目は、医師発ベンチャーで、日本で初めて「治療用アプリ」を開発した株式会社CureApp(キュア・アップ)代表取締役社長の佐竹晃太先生にご講演いただきます。

同時に医師として診療も続けておられ、開発から上市に至るまでのご経験をお持ちで、デジタル療法という新たな治療分野でご活躍されています。

皆様奮ってご参加ください。

講演

デジタル療法の可能性を肌で感じ、
治療用アプリの開発に至った経緯
～起業から世界初のプロダクト上市と今後の展望について～



佐竹 晃太 先生

株式会社CureApp
代表取締役社長/医師

プログラム

2021.9.24 (金) 18:00-19:00 (オンライン開催)

17:55- 受付 (Zoom Open)

18:00-18:05 開会挨拶

18:05-18:55 講演

18:55-19:00 閉会挨拶

内容は予告なく変更する場合がございます。

対象者

医療機器開発に興味のある医師、医療従事者、
アカデミア研究者、学生

参加申し込み(要事前登録)

Zoom Webinarにて開催されます
下記サイトまたはQRコードからアクセスのうえお申込みください
ご登録後、ウェビナー参加に関する確認メールが届きます

申込

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_7ZA2BSvDRKyVQdPL8i1WXw](https://us02web.zoom.us/join/https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_7ZA2BSvDRKyVQdPL8i1WXw)



録音・録画ならびに写真撮影は固くお断りさせていただいておりますので、ご理解、御協力の程、何卒宜しくお願い致します

講演概要

デジタル療法の可能性を肌で感じ、治療用アプリの開発に至った経緯

～起業から世界初のプロダクト上市と今後の展望について～

医師として臨床に関わる中でMBA、MPH取得のために留学した際、実際に肌で感じたことをきっかけに帰国後CureAppを創業。医薬品、ハードウェア医療機器に次ぐ新たな治療法としてデジタル療法による治療用アプリの開発を進める。現在はニコチン依存症治療アプリが世界初の薬事承認取得、保険収載を経て実際に臨床現場で処方されているほか、高血圧治療アプリ、NASH治療アプリ、アルコール依存症治療アプリ、がん患者支援治療アプリの開発も進めている。国内外問わず広くデジタル療法が治療の第一選択となるよう目指している。今回は起業のきっかけから治療用アプリの開発、上市までの流れについてお話しさせていただきます。

ご略歴

佐竹 晃太 先生

株式会社CureApp
代表取締役社長/ 医師



2007年 慶應義塾大学医学部卒業、日本赤十字社医療センター等で呼吸器内科医として勤務。

2012年 中国上海にある中欧国際工商学院 (CEIBS) へ留学後、経営学修士号 (MBA) 修了。

2014年 米国ジョーンズ・ホプキンス大学公衆衛生大学院にて治療用アプリの費用対効果等の医療インフォマティクス研究に従事し、公衆衛生学修士号 (MPH) 修了。

帰国後、2014年にCureApp創業。2019年にCureApp 米国法人を設立。

治療用アプリの開発他、現在も診療を継続し医療現場に立ちながら、日本遠隔医療学会 理事・日本禁煙学会 評議員として学術活動も活発に推進している。

お問い合わせ



筑波大学つくば臨床医学研究開発機構 (T-CReDO)

TR推進・教育センター

[E-mail] TR_info@md.tsukuba.ac.jp

[TEL] 029-853-3630

